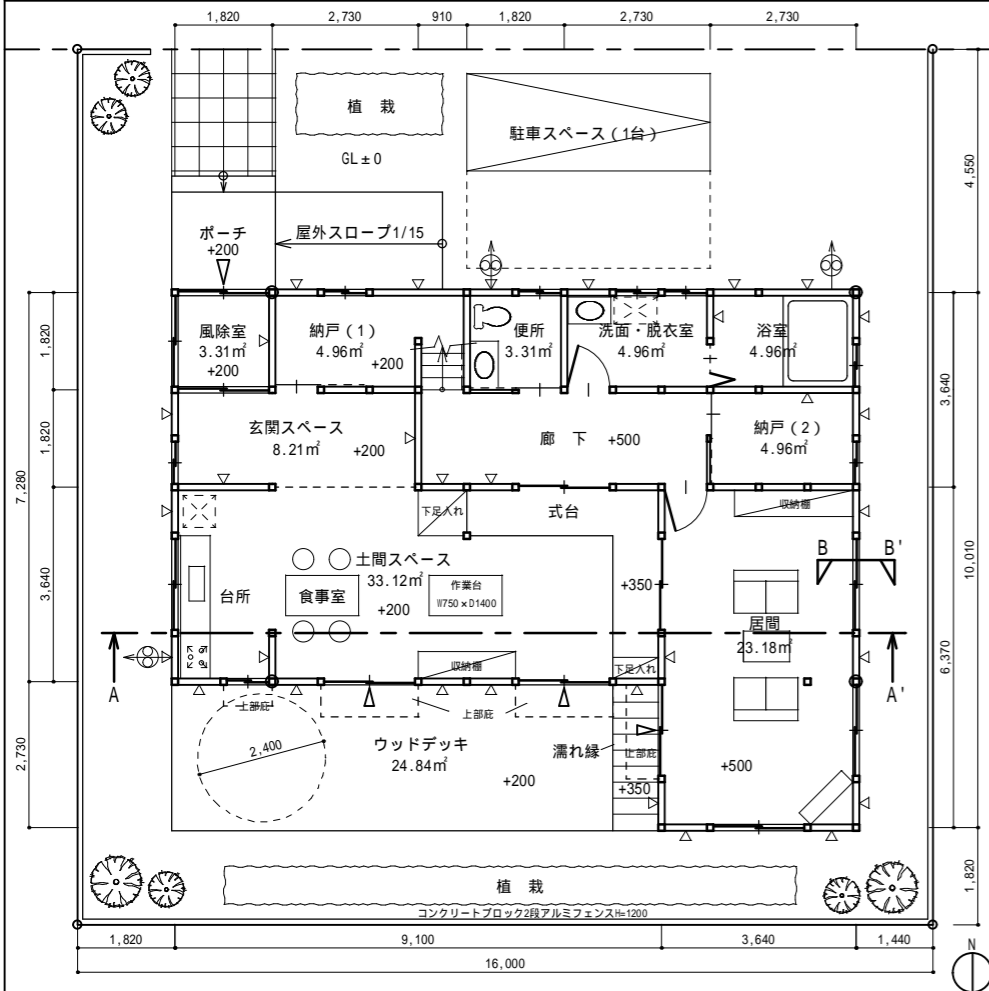
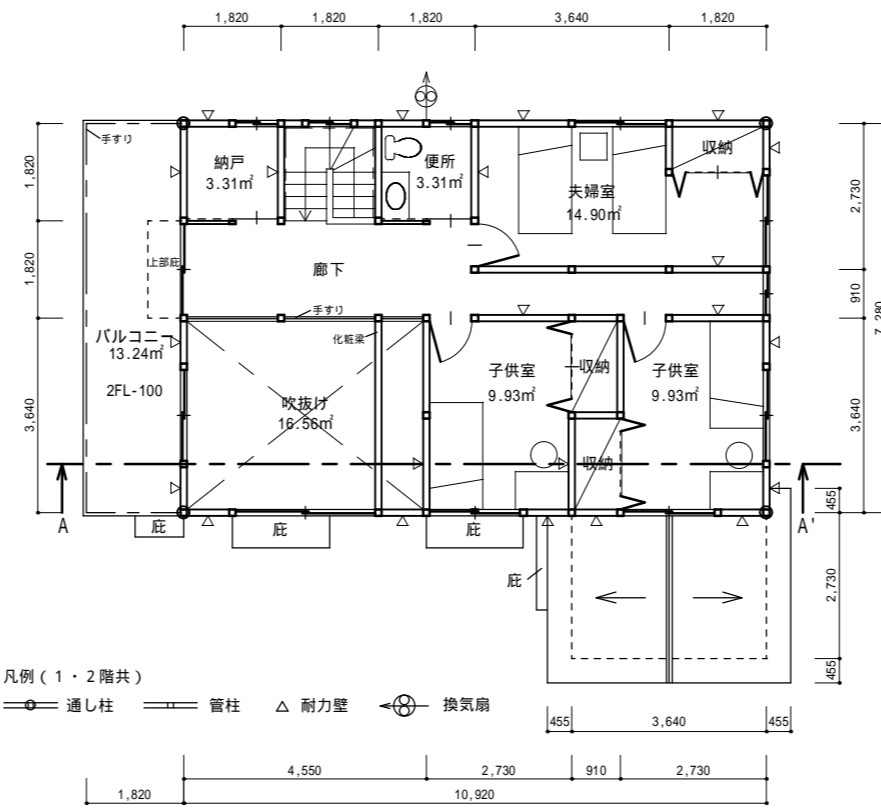


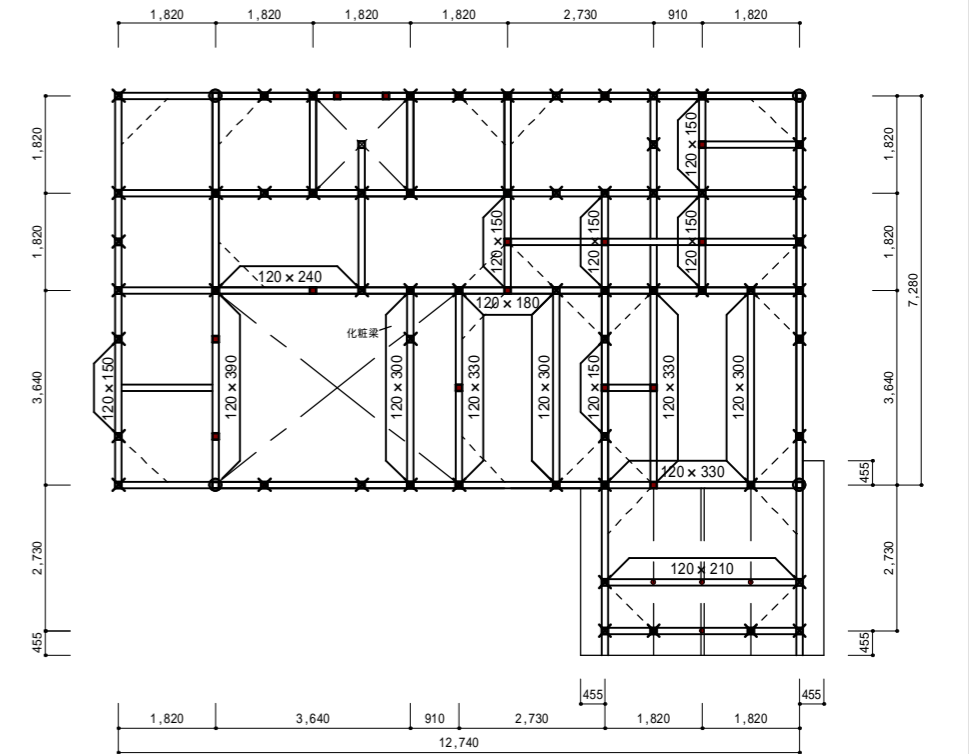
1階平面図兼配置図 縮尺1/100（目盛4.55mm）



2階平面図 縮尺1/100（目盛4.55mm）



2階床伏図兼1階小屋伏図 縮尺1/100（目盛4.55mm）



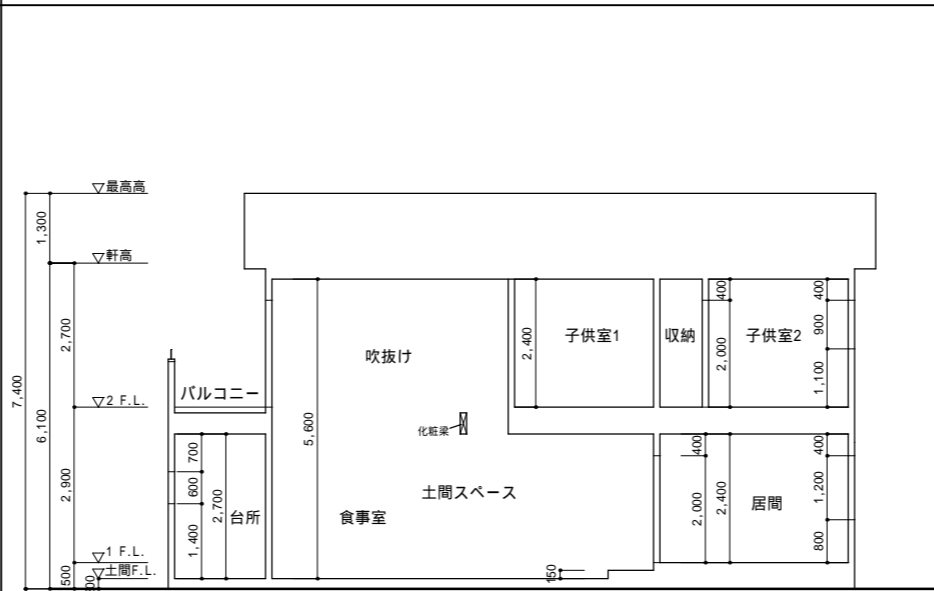
凡例（1・2階共）  
 ○ 通し柱    □ 管柱    △ 耐力壁    ⊕ 換気扇

表示記号	通し柱	1階の柱	2階の柱	1階と2階が重なる柱	調整・2階床ぼり・けた・小屋ぼり	防火ばり	檜木・小屋束	もや・小屋束
断面寸法の記入欄(mm)	120×120	120×120	120×120	120×120	調整材 平角材 丸太材	90×90	檜木 90×90	もや 90×90

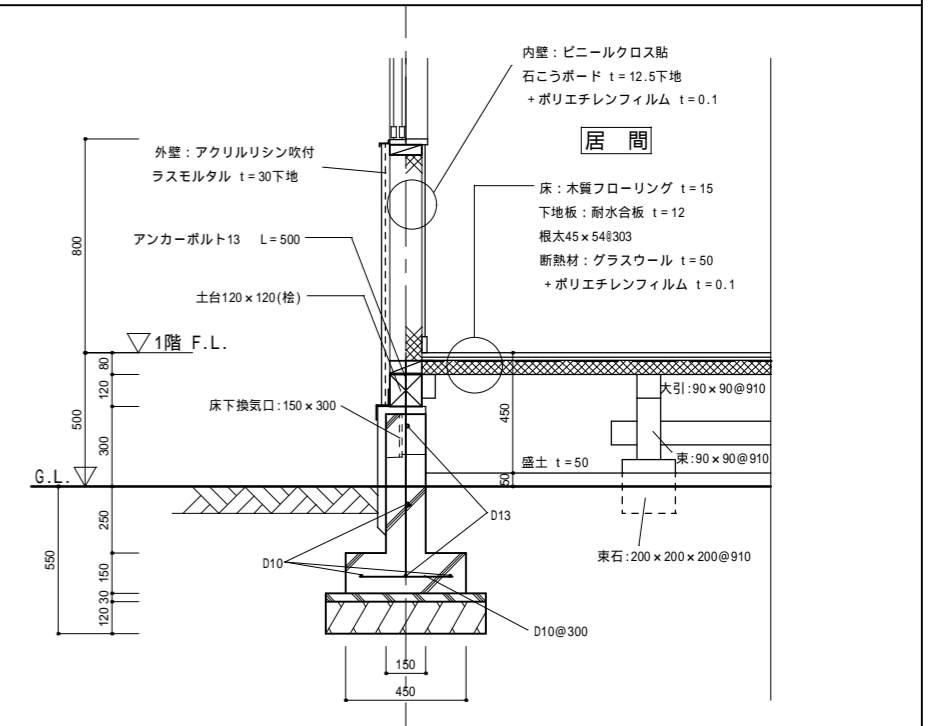
南側立面図 縮尺1/100（目盛4.55mm）



A-A'断面図 縮尺1/100（目盛4.55mm）



B-B'部分詳細図（断面） 縮尺1/20（目盛10mm）



敷地面積		262.08	m <sup>2</sup>
建築面積	(9.10×7.28)+(3.64×10.01)	102.68	m <sup>2</sup>
床面積	1階	(9.10×7.28)+(3.64×10.01)	102.68 m <sup>2</sup>
	2階	(10.92×7.28)-(4.55×3.64)	62.94 m <sup>2</sup>
延べ面積		102.68+62.94	165.62 m <sup>2</sup>

土間スペースと居間及び廊下の段差が300mmあるため、蹴上げが150mmの式台を設けた。また、その奥行きを910mmとり、利便性に配慮した。  
 眺望に配慮し、建物の南西側に配置し、土間スペースからのアクセスを考慮し、GLからの高さを+200mmとした。また、居間からの利用も考え、ウッドデッキと居間との出入口部にGL+350mmの濡れ縁を設ける計画とした。  
 建物の耐震性に配慮し、1・2階共、通し柱を含む出隅となる壁を耐力壁とし、バランスよく配置した。また、1階部分において空間構成の邪魔にならない位置に袖壁や独立柱を設けることにより、床梁の負荷が軽減するように配慮した。

部位	仕上材名		下地材名
	外部	屋根 化粧スレート葺(勾配3/10)	アスファルトルーフィング耐水合板t=15
内部	外壁	吹付アクリルリシン	ラスモルタルt=30
	天井	ビニルクロス	石膏ボードt=12.5
	壁	ビニルクロス	石膏ボードt=12.5
床	磁器質タイル	コンクリート	